

人材難・資格ハードル低め

介護福祉士は好感

介護現場での期待は高
護師に比べ、介護福祉士
はフィリピンで大学を卒
まる。ハードルの高い看



お年寄りに日本語で話しかけるナルバ
ザさん＝東京都内の介護保険施設で

業し、来日後に養成校に
2年通えば資格を取れる
道があり、越えられるハ
ードルといわれる。図。

加えての人材難。中央
福祉人材センターによる
と、8月の高齢者福祉・
介護保険分野の有効求人
倍率は2.06倍（前年同
月1.37倍）。全国老人
福祉施設協議会の介護職
員の状況調査でも、会員
の施設の6割が「不足」
と答えた。

そんな窮状を横目に、
企業も動き出している。
有料老人ホームなど17カ
所を展開するゼクスコミ

ユニティ（東京都千代田
区）は、今月からフィリピン
人6人を受け入れた。
同社が身元保証人とな
り、日本語を学びながら
介護福祉士を目指す。資
格が取れた人は、社員と
して雇用する方針だ。

上内侍保・経営企画部
長は「将来、日本人だけ
ではサービスが維持でき
なくなる。プロ意識の高
い人なら、日本人に限る
必要はない」と話す。

東京都内のある介護保
険施設。5年ほど前から
介護ボランティアアとし
て、3カ月ごとに数人を
受け入れている。

「体の調子はいかがで
すか？」。リリベス・ナ
ルバザさん(31)が日本語
で声をかけると、お年寄
りはほっこりとうなずい

た。ミンダナオ島で助産
師として働く2児の母の
ナルバザさんは、昨年11
月に続いて2度目だ。

入所者の女性(71)は
「言葉や習慣を覚えるだ
けでも大変なのに一人ひ
どりの介護の度合いも覚
えている。日本人より優
しい」と評判は上々だ。

施設では当初、偏見や
日本語能力の不足を訴え
る声があった。そこで施
設長は、フィリピン人に
英語で引き継ぎを書いて
もらうことにした。細か
い質問や心情を伝えられ
るようになり、信頼感も
広がったという。

「コミュニケーション
にはお互いの努力や準備
が必要。受け入れ側も勉
強や研究が欠かせない」
と施設長は強調する。